

県立近代美術館 葉山

《12月23日(水・祝)まで》

若林奮 飛葉と振動

飛葉と振動とは、若林奮最晩年の彫刻シリーズ名です。木の葉が飛来し、光や大気とともに自らも振動する場。そこは自然と人間との共生を求め、思索し続けてきた作家が辿り着いた空間です。



▲《ハエの模型・飛び方》1969年 個人蔵(当館寄託)

/photo©山本紘

《無料開館日》 11月3日(火・祝)文化の日

《関連企画》 ※すべて申込み不要・無料です。

○記念対談「ラスコーと武蔵野の庭」

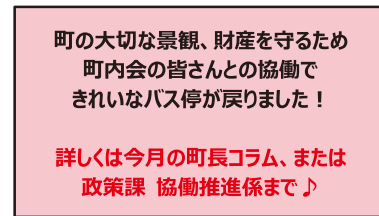
日時 11月7日(土)14時～15時30分 ※定員70人(先着順)

講師 吉増剛造(詩人)×関口涼子(著述家・翻訳家)

○館長トーク(当館館長：水沢勉) ※要観覧券

日時 11月23日(月・祝)14時～15時

11月の休館日 23日を除いた月曜日 問合せ ☎875-2800



町長と葉山のはなし

葉山町長 山梨崇仁コラム

Vol.19 協働(きょうどう)

～ みんなで作る、私たちの町 ～

今月号の特集、いかがですか? 広報7月号のコラムでご紹介した若手職員の取り組みが、日本初を切り開きました。町の内外の人々の投稿で葉山の魅力を再確認。そして、その表現力で、世界中に葉山の魅力を届けることができます。本当に素晴らしい写真が並びました。ご参加の皆様と職員の人々に、深く感謝です。

行政だけでは分らない、手が届かない、それをできる方に補ってもらい、同じ目的で協力することを「協働」といいます。葉山町では、町内会やNPOなど、以前から様々な場面で協力していただけてきました。

先日、そんな写真によく撮られるバス停の落書き消しも協働し



ました。役場が薬剤などの準備をしたら、近隣の方々と一緒に消して、塗って、掃除して、最後のペンキ塗りたて張り紙をしたら、また書かれないようにみんなで警戒する。

素敵なバス停をみんなできれいにしたんだよ、また、この人は私の写真を見て葉山を訪れたんだよ、そんな風に住んでいる人たちがつくる、伝えることで本当の、「私たちの町」になるのだと思います。

そもそも、私もみんなで汗をかいて、みんなと同じ気持ちになれる瞬間が大好きです。あなたの暮らしのそばに、葉山らしい協働のネタはありませんか?